



常磐中学校だより

令和 8年 2月20日
No. 18
四日市市立常磐中学校

《学校教育目標》 生き生きと輝く

冬本番、常中はがんばっています！

季節は一年で一番寒い時期を迎えています。市内の小中学校ではまだまだインフルエンザが流行しています。常磐中学校でも1月の後半から、毎日どこかのクラスでインフルエンザによる学級閉鎖をしている状態です。まだまだ寒い日が続くでしょうし、もしかしたら先日のような大雪が降るかもしれません。体調管理を万全にして健康な生活を送りたいですね。



3年生の皆さんは、私立高校の受験や県立高校の前期選抜が終わり、あとは県立高校の後期選抜を残すのみとなりました。卒業式までの残り3週間を大切に過ごしてください。

学校公開日・CS会議がありました

2月12日（木）は学校公開日でした。寒いなか朝からたくさんの保護者の方々に子どもたちの授業の様子を見ていただき、誠にありがとうございました。

その日は同時に第4回CS（コミュニティースクール）運営協議会も行われ、8名の委員の方々に集まりいただき、学校の様子を見ていただくとともに今年度の常磐中学校の教育活動全般について以下のようなご意見をいただきました。

- ・「秋に見学した時より落ち着いて授業を受けている様子がわかりました。」
- ・「朝登校している姿を見ていておおむね交通ルールが守れていて安心しています。」
- ・「教室の中も乱雑な様子は見られず、とても良いことだと思います。」
- ・「（掲示物を見て）自分の言葉で人権にかかわる意思を表現できていてよかったです。」
- ・「地域のボランティア活動に参加する子が増えてきて、意識の高まりを感じます。」
- ・「家庭と連絡が取りづらい子や不登校傾向の子の様子が心配されます。」
- ・「来年度から部活動の在り方が変わるので、休日の子どもの居場所などが心配です。」
- ・「一人一人のいいところをちゃんと見いだせる学校であってほしいです。」
- ・「違う中学校に通う元クラスメイトとオンラインでつなぐ授業があっていいのでは。」

等

今回が今年度ラストの運営協議会でした。学校の運営全般についてご意見をいただいたり、学校と地域の連携役として動いていただいたりしました。常磐中学校のためにこの一年間ありがとうございました。今後もよろしくお願いします。

1年生：青木さんとボッチャを楽しみました！

学校公開日の2月12日（木）午後、1年生は四日市在住の青木健太さんをお迎えして福祉体験学習を行いました。青木さんは、高校生の時柔道部の練習中に背髄を損傷する大ケガを負い、手足が動かない車いす生活を強いられました。前半の講演では、青木さんの障害について日常生活の様子や苦労などのお話を聞きました。後半は、パラリンピック正式種目である「ボッチャ」を青木さんと一緒に楽しみました。



青木さんが1年生のみなさんに向けてのメッセージで印象的だったのは、「何度失敗しても、あきらめずに努力を続けてほしい」ということでした。青木さんご自身のつらい経験から出たこのメッセージには相当な重みを感じました。「よしがんばろう！」と思った人も多かったのではないのでしょうか。

